



平成20年5月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年3月25日

上場会社名 日本化薬株式会社 上場取引所 東証第1部
 コード番号 4272 URL <http://www.nipponkayaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島田 紘一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 荒木 良一 TEL (03) 3237-5270
 グループ管理本部経理部長

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年5月期第3四半期の連結業績(平成19年6月1日～平成20年2月29日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年5月期第3四半期	108,686	2.0	9,777	11.7	8,086	33.7	3,312	37.7
19年5月期第3四半期	110,873	7.3	11,069	13.7	12,192	8.6	5,320	38.5
19年5月期	148,124		13,536		15,138		6,610	

	1株当たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年5月期第3四半期	18.23	18.11
19年5月期第3四半期	29.27	28.99
19年5月期	36.37	36.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年5月期第3四半期	208,837	129,323	55.7	640.79
19年5月期第3四半期	208,445	129,230	56.0	642.46
19年5月期	207,081	130,233	56.7	646.78

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年5月期第3四半期	8,059	15,860	3,414	21,382
19年5月期第3四半期	13,936	12,799	4,109	26,987
19年5月期	20,201	17,882	1,559	25,589

2. 配当の状況

当社は、四半期末を基準日とした配当を行っておりません。

配当予想に関しましては、平成19年12月27日に発表した平成20年5月期の予想を変更しておりません。

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
19年5月期	円 銭 10.00	円 銭 10.00	円 銭 20.00
20年5月期	10.00	-	20.00
20年5月期(予想)	-	10.00	

3. 平成20年5月期の連結業績予想(平成19年6月1日～平成20年5月31日) 【参考】

平成 19 年 12 月 27 日に発表した平成 20 年 5 月期の連結業績予想を変更していません。

(%表示は対前年増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	148,500	0.3	13,600	0.5	12,200	19.4	6,700	1.3	36.88

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社(社名 マイクロケム CORP.) 除外 1社(社名 (株)カヤテック)
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご参照ください。]

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(平成19年6月1日から平成20年2月29日まで)のわが国経済は、設備投資の増加はあるものの、原油価格の高騰による原材料価格上昇が企業の収益に影響を与えております。国外では、中国をはじめとするアジア経済が堅調に推移したものの、米国経済の減速による金融市場への影響が出始めております。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期の売上高は、1,086億8千6百万円と前年同期に比べ21億8千7百万円(2.0%)減少しました。

営業利益は97億7千7百万円となり、電子情報材料事業の光学機能フィルムの不振等により前年同期に比べ12億9千1百万円(11.7%)減少しました。経常利益は、為替の影響を大きく受け80億8千6百万円と前年同期に比べ41億5百万円(33.7%)減少しました。四半期純利益は、33億1千2百万円と前年同期に比べ20億8百万円(37.7%)減少しました。

当第3四半期の事業セグメント別概況は、次のとおりです。

【機能化学品事業】

売上高は、447億9千9百万円と前年同期に比べ22億2千9百万円(4.7%)減少しました。

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂が環境対応型エポキシ樹脂の好調により前年同期を上回りました。また紫外線硬化型樹脂も前年同期を上回りました。機能性材料事業全体でも前年同期を上回りました。

電子情報材料事業は、インクジェットプリンター用色素が前年同期を上回りました。複合材では、光ディスク用樹脂が前年同期を上回りましたが、機能性色素、レンズ用樹脂が前年同期を下回りました。光学機能フィルムにおきましては、プラズマディスプレイ用フィルムが前年同期を大きく下回りました。また株式会社ポラテクノも車載用途向け染料系偏光フィルムは伸びましたが、リアプロジェクションテレビ向け無機偏光板が同テレビ市場の縮小による影響を受け前年同期を大きく下回りました。電子情報材料事業全体では前年同期を下回りました。

触媒事業は、アクリル酸製造用触媒が好調に推移し、前年同期を上回りました。

機能化学品事業全体の営業利益は、55億6千6百万円となり、電子情報材料事業の光学機能フィルムの不振等により前年同期に比べ16億1千8百万円(22.5%)減少しました。

【医薬事業】

売上高は、309億4千万円と前年同期に比べ3億1百万円(1.0%)増加しました。

国内向け製剤は、「オダイン錠」(抗がん剤)、「動注用アイエーコール」(抗がん剤)、「パクリタキセル注NK」(抗がん剤)、「カルボメルク」(抗がん剤)、「エピルピシン注メルク」(抗がん剤)、「カルセド」(抗がん剤)、「ジェルパート」(肝動脈塞栓材)が好調に推移し、前年同期を上回りました。一方、「フェアストン錠」(抗がん剤)、「ミリスロール注」(血管拡張剤)が競合品等の影響により、前年同期を下回りました。国内向け製剤全体では前年同期を上回りました。

輸出は、ブレオ類(抗がん剤)が前年同期を上回りましたが、エトポシド類(抗がん剤)が前年同期を下回ったため、輸出全体でも前年同期を下回りました。

国内向け原薬は、ジェネリック医薬品原料が堅調に推移しましたが、飼料添加物が前年同期を下回ったため、国内向け原薬全体でも前年同期を下回りました。

診断薬は「ラナザイム ST-439 プレート」(乳がん診断薬)、「ラナ 1,5AG」(糖尿病診断薬)が堅調に推移したため、前年同期を上回りました。

医薬事業全体の営業利益は、55億2千2百万円となり、前年同期に比べ3億9千7百万円(7.8%)増加しました。

【セイフティシステムズ事業】

売上高は、152億9千5百万円と前年同期に比べ25億9千万円(20.4%)増加しました。

エアバッグ用インフレーター及びシートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータが好調に推移し、前年同期を上回りました。

セイフティシステムズ事業全体の営業利益は、2億7百万円となり、積極的な設備投資による減価償却費増や原材料高等により前年同期に比べ1億7千6百万円(45.9%)減少しました。

【化学品事業】

平成20年1月2日に、当社の火薬事業を旭化成ケミカルズ株式会社と両社共同出資の合併会社「カヤク・ジャパン株式会社」に事業統合しております。カヤク・ジャパン株式会社は持分法適用会社となります。そのため、当社の火薬事業は平成19年6月から12月までの業績について連結しております。

売上高は、154億2千1百万円と前年同期に比べ28億6千5百万円(15.7%)減少しました。

アグロ事業は、国内・輸出ともに前年同期を大きく下回りました。

色材事業は、紙パルプ向け非繊維用特殊色材が堅調に推移し、前年同期並みでした。

火薬事業は、カヤク・ジャパン株式会社に事業統合したことにより、前年同期を大きく下回りました。

化学品事業全体の営業利益は、10億8千8百万円となり、火薬事業の事業統合による影響に加え、中国の増値税還付撤廃及び原材料の値上がり色が材事業へ大きな影響を与えたため、前年同期に比べ2億9千9百万円(21.6%)減少しました。

【その他事業】

売上高は、22億2千8百万円と前年同期に比べ1千5百万円(0.7%)増加しました。

営業利益は、12億8百万円となり、前年同期に比べ2百万円(0.2%)増加しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、2,088億3千7百万円で、前期末に比べ17億5千5百万円の増加となりました。流動資産は、16億9千7百万円増加しました。これは主にたな卸資産が増加したことによるものです。固定資産は、5千8百万円増加しました。

負債は、795億1千3百万円で、前期末に比べ26億6千6百万円の増加となりました。これは主に未払法人税等が減少したものの、短期借入により増加したことによるものです。純資産は、1,293億2千3百万円で、前期末に比べ9億1千万円の減少となりました。

また、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ42億6百万円減少し213億8千2百万円となりました。各、キャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、80億5千9百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が71億2百万円、減価償却費が79億2千4百万円あったものの、法人税等の支払額が68億9千1百万円あったことによるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、158億6千万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が109億1百万円あったことによるものです。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、34億1千4百万円となりました。これは主に短期借入の増減が53億8千万円あったものの、配当金の支払いが35億1千5百万円あったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第 3 四半期連結業績は予測の範囲内で推移しておりますので、現時点で通期の業績予想の修正はしていません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 1 社：マイクロケム CORP.

除外 1 社：(株)カヤテック

当社を存続会社、(株)カヤテックを消滅会社とする吸収合併を行っております。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当社及び一部の連結子会社においては、退職給付引当金の計上について当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当第 3 四半期末において発生していると認められる額を計上しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

「セグメント情報」における「事業区分」を変更しております。

詳細は、9 ページをご参照ください。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	期 別		前第3四半期末 平成19年2月28日現在		当第3四半期末 平成20年2月29日現在		前連結会計年度末 平成19年5月31日現在		増 減 前連結会計 年度末差
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	金 額	
(資産の部)		%		%		%			
流動資産	108,363	52.0	104,359	50.0	102,661	49.6		1,697	
現金及び預金	20,835		18,340		18,320			19	
受取手形及び売掛金	45,767		46,153		46,213			60	
有価証券	8,254		3,493		7,377			3,884	
たな卸資産	29,368		29,664		26,180			3,484	
その他	4,136		6,707		4,569			2,138	
固定資産	100,082	48.0	104,477	50.0	104,419	50.4		58	
有形固定資産	67,837		71,526		69,783			1,743	
無形固定資産	5,947		6,748		5,757			990	
投資その他の資産	26,296		26,203		28,879			2,675	
資産合計	208,445	100.0	208,837	100.0	207,081	100.0		1,755	
(負債の部)									
流動負債	40,182	19.3	42,712	20.5	40,316	19.5		2,395	
支払手形及び買掛金	18,804		19,015		15,974			3,040	
短期借入金	6,685		11,384		7,099			4,284	
未払金	5,775		6,030		6,754			723	
未払費用	3,357		3,277		4,490			1,213	
未払法人税等	2,781		715		4,548			3,832	
その他	2,776		2,288		1,448			840	
固定負債	39,033	18.7	36,801	17.6	36,531	17.6		270	
長期借入金	14,891		14,320		12,033			2,286	
退職給付引当金	3,599		4,478		3,904			573	
長期預り金	13,998		13,443		13,846			403	
その他	6,543		4,559		6,745			2,186	
負債合計	79,215	38.0	79,513	38.1	76,847	37.1		2,666	
(純資産の部)									
株主資本	109,900	52.7	110,791	53.1	111,168	53.7		376	
資本金	14,932		14,932		14,932			-	
資本剰余金	17,268		17,270		17,269			1	
利益剰余金	78,190		79,160		79,481			321	
自己株式	491		571		514			56	
評価・換算差額等	6,843	3.3	5,596	2.7	6,345	3.1		749	
その他有価証券評価差額金	5,154		2,348		5,068			2,720	
為替換算調整勘定	1,688		3,247		1,276			1,971	
少数株主持分	12,486	6.0	12,935	6.2	12,719	6.1		215	
純資産合計	129,230	62.0	129,323	61.9	130,233	62.9		910	
負債及び純資産合計	208,445	100.0	208,837	100.0	207,081	100.0		1,755	

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期 自平成18年6月1日 至平成19年2月28日		当第3四半期 自平成19年6月1日 至平成20年2月29日		前連結会計年度 自平成18年6月1日 至平成19年5月31日		増減 前第3四半期連結 会計期間差	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減比
売上高	110,873	100.0	108,686	100.0	148,124	100.0	2,187	2.0
売上原価	69,486	62.7	69,165	63.6	93,537	63.1	320	0.5
返品調整引当金戻入額	62	0.1	57	0.1	62	0.0	5	8.9
返品調整引当金繰入額	54	0.0	32	0.0	57	0.0	21	39.6
売上総利益	41,395	37.3	39,545	36.4	54,592	36.9	1,850	4.5
販売費及び一般管理費	30,325	27.4	29,767	27.4	41,056	27.7	558	1.8
営業利益	11,069	10.0	9,777	9.0	13,536	9.1	1,291	11.7
営業外収益	2,130	1.9	1,144	1.1	2,712	1.8	985	46.3
営業外費用	1,007	0.9	2,835	2.6	1,110	0.7	1,827	181.3
経常利益	12,192	11.0	8,086	7.4	15,138	10.2	4,105	33.7
特別利益	428	0.4	55	0.1	437	0.3	372	87.0
特別損失	1,603	1.4	1,040	1.0	1,966	1.3	562	35.1
税金等調整前四半期(当期)純利益	11,017	9.9	7,102	6.5	13,608	9.2	3,914	35.5
法人税、住民税及び事業税	4,624	4.2	2,822	2.6	6,330	4.3	1,802	39.0
法人税等調整額	219	0.2	303	0.3	826	0.6	522	238.4
少数株主利益	1,292	1.2	664	0.6	1,494	1.0	627	48.5
四半期(当期)純利益	5,320	4.8	3,312	3.0	6,610	4.5	2,008	37.7

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前連結会計年度
	自 平成18年 6月 1日 至 平成19年 2月28日	自 平成19年 6月 1日 至 平成20年 2月29日	自 平成18年 6月 1日 至 平成19年 5月31日
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	11,017	7,102	13,608
減価償却費	6,303	7,924	8,730
受取利息及び配当金	293	426	361
支払利息	305	378	450
有形固定資産売却益	209	45	216
売上債権の増減額(増加:)	140	426	355
たな卸資産の増減額(増加:)	2,493	4,250	681
仕入債務の増減額(減少:)	1,477	2,950	1,244
未払金の増減額(減少:)	1,377	558	757
未払費用の増減額(減少:)	1,069	1,399	136
その他	3,087	2,738	2,272
小計	16,889	14,840	22,944
利息及び配当金の受取額	296	405	638
利息の支払額	327	294	542
法人税等の支払額	2,923	6,891	2,839
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,936	8,059	20,201
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の払戻しによる収入	3	204	12
定期預金の預入れによる支出	45	266	59
有価証券の取得による支出	2,996	-	2,996
有価証券の売却による収入	6,496	-	8,494
有形固定資産の取得による支出	13,391	10,901	17,219
有形固定資産の売却による収入	220	99	307
無形固定資産の取得による支出	99	250	185
投資有価証券の取得による支出	1,210	2,474	3,946
投資有価証券の売却による収入	539	2,231	539
長期前払費用の増加による支出	508	168	813
その他	1,806	4,333	2,017
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,799	15,860	17,882
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額(減少:)	1,247	5,380	61
長期借入れによる収入	10,000	5,000	10,000
長期借入金の返済による支出	2,051	2,769	3,232
配当金の支払額	4,328	3,515	4,434
その他	758	681	834
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,109	3,414	1,559
現金及び現金同等物に係る換算差異	197	143	166
現金及び現金同等物の増減額	5,443	4,243	4,044
現金及び現金同等物の期首残高	21,424	25,589	21,424
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	119	36	119
現金及び現金同等物の第3四半期末(期末)残高	26,987	21,382	25,589

(4) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第3四半期(自平成18年6月1日至平成19年2月28日)

(単位:百万円)

	機能化学 品事業	医薬 事業	セイフティ システムズ事業	化学品 事業	その他 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高								
外部顧客に対する売上高	47,028	30,639	12,704	18,286	2,213	110,873	-	110,873
セグメント間の内部売上高又は 振替高	81	0	-	199	11	293	(293)	-
計	47,110	30,639	12,704	18,486	2,225	111,167	(293)	110,873
営業費用	39,924	25,514	12,320	17,097	1,019	95,877	3,925	99,803
営業利益	7,185	5,125	384	1,388	1,206	15,289	(4,219)	11,069

当第3四半期(自平成19年6月1日至平成20年2月29日)

(単位:百万円)

	機能化学 品事業	医薬 事業	セイフティ システムズ事業	化学品 事業	その他 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高								
外部顧客に対する売上高	44,799	30,940	15,295	15,421	2,228	108,686	-	108,686
セグメント間の内部売上高又は 振替高	87	2	-	236	5	331	(331)	-
計	44,887	30,943	15,295	15,657	2,234	109,017	(331)	108,686
営業費用	39,320	25,420	15,088	14,568	1,025	95,423	3,484	98,908
営業利益	5,566	5,522	207	1,088	1,208	13,594	(3,816)	9,777

前連結会計年度(自平成18年6月1日至平成19年5月31日)

(単位:百万円)

	機能化学 品事業	医薬 事業	セイフティ システムズ事業	化学品 事業	その他 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高								
外部顧客に対する売上高	61,942	41,700	16,982	24,538	2,960	148,124	-	148,124
セグメント間の内部売上高又は 振替高	122	1	-	293	6	424	(424)	-
計	62,065	41,702	16,982	24,831	2,967	148,548	(424)	148,124
営業費用	53,641	34,227	17,099	22,990	1,374	129,332	5,255	134,588
営業利益	8,424	7,475	(116)	1,840	1,592	19,215	(5,679)	13,536

(注) 1. 事業区分

売上集計区分によっております。

2. 事業区分の変更

従来、事業区分は「機能化学品事業」「医薬事業」「化学品事業」「その他事業」の4事業区分に分類しておりましたが、自動車安全部品を取り扱う事業規模「セイフティシステムズ事業」が拡大したことに伴い、管理区分上もセイフティシステムズ事業本部を新設していることから、事業の実態をより適正に反映させるため、当連結会計年度より、「機能化学品事業」の中の「セイフティシステムズ事業」を区分表示することに変更しております。このため、事業区分は「機能化学品事業」「医薬事業」「セイフティシステムズ事業」「化学品事業」「その他事業」の5事業区分となっております。

なお、前第3四半期及び前連結会計年度は、変更後の事業区分に組替えております。